

基礎から実践までしっかり学び、 医療・保健・福祉の幅広い領域で活躍できる医療人に

多学科構成の本校だから学べるチーム医療

患者様に各専門分野が連携・協力し、治療やケアを実践する「チーム医療」。多学科構成の本校だから、各学科合同でのグループディスカッション授業や他学科教員から学ぶ授業など、相互的に連携し学べる教育プログラムでチーム医療を学びます。



Physical Therapist

理学療法学科

次世代リハビリ医療の
即戦力となる理学療法士に

理学療法士とは

ケガや病気などで身体に障害のある人などに対し、基本動作能力(座る、立つ、歩くなど)の回復や維持、障害の悪化の予防を目的に運動療法や物理療法(温熱、電気等)などを用いて自立した日常生活が送れるよう支援するリハビリテーションの専門職です。

取得可能な資格

理学療法士国家試験受験資格、高度専門士称号資格、大学院受験資格、人間総合科学大学 学士(人間科学)、普通救命講習修了証、福祉住環境コーディネーター(2級)



Nursing

看護学科

現場が求めるチーム医療を
身につけた看護師に

看護師とは

傷病者や妊産婦の療養上のお話をしたり、診療の補助を行うのが看護師の仕事です。「人を見る」という看護師独自の視点で観察や判断をし、患者様の生命と生活を支えている医療職です。

取得可能な資格

看護師国家試験受験資格、専門士称号、助産師学校受験資格、保健師学校受験資格、大学編入試験受験資格



Occupational Therapist

作業療法学科

患者様に寄り添い、生きる力
を見出せる作業療法士に

作業療法士とは

作業療法士は入浴や食事、日常生活の動作やスポーツ、レクリエーションなど、あらゆる作業活動を通して、身体と心のリハビリテーションを行い、「その人らしい」生活の獲得を目標とするリハビリテーションの専門職です。

取得可能な資格

作業療法士国家試験受験資格、専門士称号、大学編入試験受験資格、普通救命講習修了証、福祉住環境コーディネーター(2級)



理学療法学科 3つのポイント

Point

1 国家試験合格率94.1%

(2019年度 全国平均85.8%)

4年制のゆとりあるカリキュラム、半年間の国家試験対策、予習復習の時間の確保、知識と技術を定着させるオリジナル教育で高い国家試験合格率を確保しています。



Point

2 スポーツ理学療法

スポーツトレーニングやコンディショニング、受傷時のテーピング方法などスポーツ理学療法の基礎を専門講師から学びます。また臨床現場見学など、より現場に沿った授業を行い、見聞を広げます。



Point

3 県内外で行う多様な実習

将来のキャリア形成につながる実習では、実習指導者のもとで実習を行い、学科教員が実習地巡回を行います。また愛媛大学医学部附属病院の協力のもと、ご献体による解剖実習を1・2年次に実施しています。



看護学科 3つのポイント

Point

1 チーム医療が学べる

多学科構成の本校だからこそ、他学科合同授業や他学科教員から各専門分野を実践的に学び、プラスの知識・技術を身につけた即戦力となる看護師を育成します。



Point

2 専門領域毎の多様な実習先

領域毎に8~12施設で実習を行います。教員と実習指導者が連携し、実習をサポートします。専門領域の医療機関で実習を行うことで、専門性の高い経験ができ、視野の広い看護師を目指します。



Point

3 時代のニーズに沿った医療・看護を学ぶ

松山赤十字病院と連携した「災害看護実習」、[国際看護]の専門講師による講義、愛媛大学医学部と連携した「解剖実習」など、臨床経験豊富な外部講師から、時代のニーズに沿った医療・看護を学びます。



作業療法学科 3つのポイント

Point

1 作業療法士だから、心理学を学ぶ

身体のリハビリだけでなく、心のケア、精神的なリハビリも行います。患者様の心のはたらきを知り、あらゆる可能性から解決策を考えるために、最新の心理学を学び、より良い治療方針を見出せる作業療法士を目指します。



Point

2 時代のニーズに合わせた災害支援を学ぶ

JRAT(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)で活動している講師から災害支援について学び、救命救急処置を松山消防署の方から学ぶなど、様々な場面で活躍できる作業療法士を育成しています。



Point

3 就職率100% 多方面で広がる活躍の場

作業療法士は身体障がい領域・発達障がい領域・老年期障がい領域・訪問リハビリテーションなど、作業療法士の活躍の場は医療現場のみではなく、福祉・就労・スポーツ・介護・教育・行政など、多方面に活躍の場が広がっています。



輝く卒業生 Message



大濱 和馬さん

(おおぞら病院勤務/愛媛大学附属高校出身)

高校生の時に野球部の練習でケガをし、理学療法士の方に会いました。そのおかげでケガが治り、自分の人生が変わり、理学療法士になろうと決めました。患者様の身体機能が回復し、「ありがとう」と言ってもらえた時に「やって良かったな」とやりがいを感じます。幅広い年齢層の方と関わる医療職は、決して楽な仕事ではありませんが、その数倍やりがいのある仕事です。だから、僕はこの仕事が大好きです。ぜひ、この楽しく、やりがいのある仕事を目指してもらえると嬉しいです。

輝く卒業生 Message



北澤 萌さん

(愛媛大学医学部附属病院勤務/高知県立中村高校出身)

私は医療系の学科が多く、他職種の学生と関わると良いなと思い、この学校を選びました。同じ志を持った多くの友人ができ、また卒業後も親身に関わってくださる先生方がいる、この学校に入学して良かったなと感じています。学生の頃は大変な事もあると思いますが、いざ看護師になると必ず人の役に立てるなと感じることができ、看護師になって良かったなと思う日がきます。少しでも看護師になりたいという気持ちがあれば、ぜひ看護の道に進んでほしいなと思います。

輝く卒業生 Message



東谷 和弥さん

(平成脳神経外科病院勤務/新田高校出身)

作業療法士は日常生活の細かい訓練を行うので、患者様の表面的な部分だけに関わるのではなく、これからの人生に関わることができるのが魅力の1つだと思います。また私はリハビリを通して、患者様ができなかったことが当たり前になるようになった時に、自分が携われて良かったなと感じます。リハビリの限られた時間で、確かなプログラムの立案・実施を行い患者様の目標を叶えられる一人前の作業療法士になりたいと思います。